

市民が決める、輝く半田の未来！

新しい市立半田病院は赤レンガ広場に建設します

- ・利便性が高く、常日頃でも、間近に迫る大災害でも、市民の命を守ります
- ・新しい病院の建設地の選定は、街づくりの「繁栄・衰退」の分岐点です
- ・現状は、榎原純夫市長が運動公園東側農地を予定地と決めただけで、買取交渉もこれからです、地権者に1円も支払っていません

半田市の全ての政策を、福祉の観点から総点検・再構築する

- ・市民が幸せに暮らせるよう、一人一人に寄り添う市役所を実現するため、市の施策のすべてを福祉の観点から見直し、福祉政策の体系を再構築します

土曜・日曜・祝日の午前中に市民課を開庁します

- ・出生や結婚などの申請手続きや住民票などの証明書の取得をスムーズにします
- ・市民生活にお休みはありません、役所のルールではなく市民本位の運営にします

図書館・博物館・南吉記念館等の開館日を増やします

- ・休館日を減らし、開館・閉館時間を見直し、サービスの向上と施設の有効活用を計ります。観光資源としての役割も担います

コミュニティーバスの運行を一年間無償とする実証実験

- ・良い結果が出なければオンデマンド方式で検討します
- ・交通弱者と言われる市民の生活の利便性を確保します

発達障がい児の支援を充実する

- ・今や10人に1人と言われる、発達障がいを持った児童の支援を充実し、二次障がいを防ぎつつ児童の健全な育成を実現します



高齢者の「生きがい」を高める方策を検討する

- ・人生100年時代と言われる今、高齢者が生きがいを持って有意義な人生を送れるよう、社会での活躍の場づくりを進めます

主要道路での踏切遮断時間を短縮し、交通のスムーズ化

- ・信号の改良や列車運行方式などを鉄道会社と協議し実現を目指します

大災害に備える安全に暮らせる街づくりの推進

- ・家具の固定・感震ブレーカーの設置（特に高齢独居家庭）
- ・防災資格者の活躍の場の推進・電柱の転倒防止（避難路の確保）

半田市の観光施策の充実

- ・半田市の観光資源の発掘と再認識を進め、商工会議所と協議し、賑わいの街づくりの充実をはかります

半田市に発展をもたらす港湾政策の推進

もっともっと輝く半田市にするために、あなたのお話を聞かせて下さい

きずな

輝く半田市の未来を創る あなたの話を聞かせて下さい



山本ひろのぶ公式HP

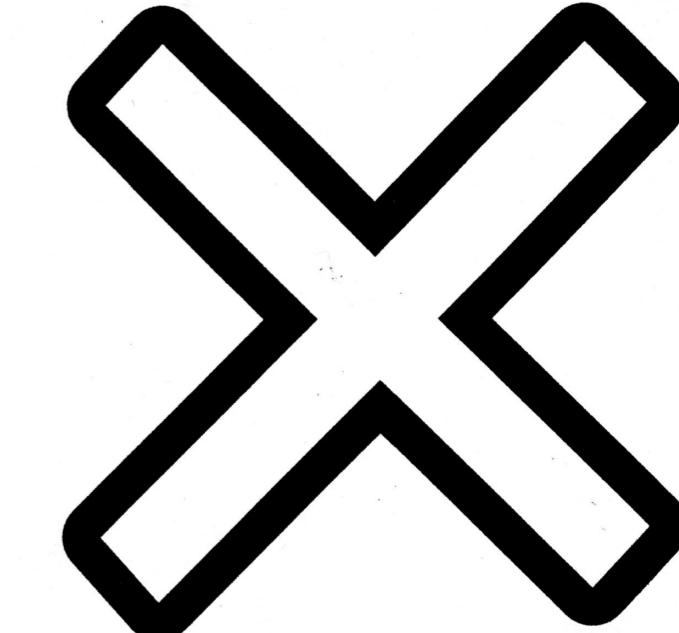
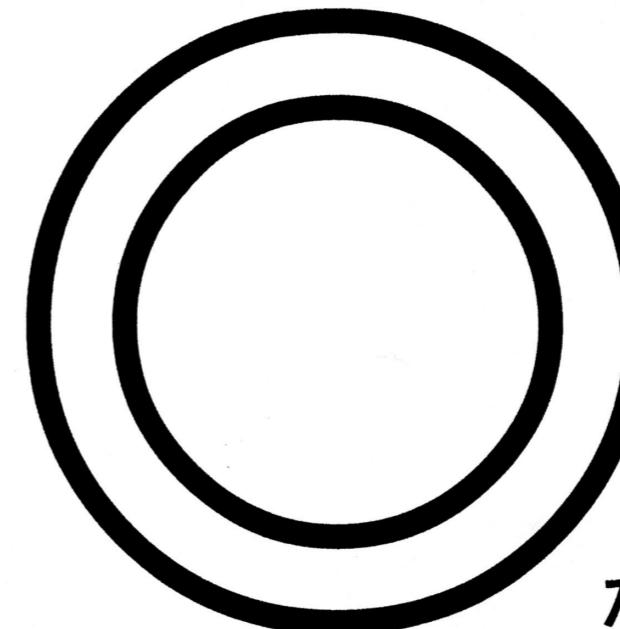
発行 第2号 令和3年5月1日 討議資料

輝く半田 未来の会

半田市新栄町37番3

tel 0569-22-3398 fax 0569-22-3399
e-mail yamamoto-hironobu@qc.commuufa.jp

活断層の上に建てる、新病院



か

か

榎原純夫市長は新病院の建設地を、迷走の末に公約違反となる運動公園東の農地にすると言う。しかし、そこには活断層があります。その活断層が動いたら病院は真っ二つになるかも知れません。今こそ、この重要政策に市民が直接判定すべき時が来ました

**決めるのはあなたです！
半田市に民主主義を取り戻そう！**

<https://yamamoto-handa.jp>
山本ひろのぶ公式HP



山本ひろのぶは

早期着工可、土地代いらず

**新病院の建設地は赤レンガ広場へ
税金の無駄遣いをストップし、
信義を貫く市政に転換します**

半田市長は「運動公園東の農地に建設すれば早くできる」と言うが、

農業振興地域の解除の手続き

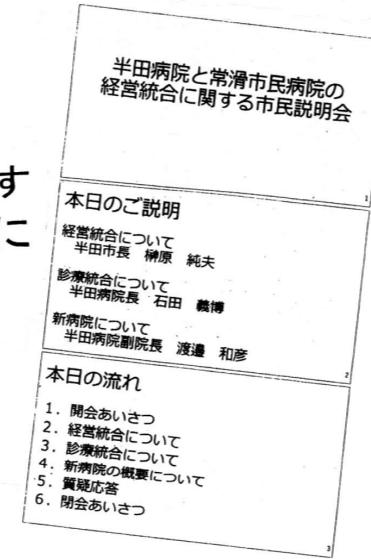
半田市は全部で約6万m²の買取を計画しています

半田市長は農業振興地域整備計画の変更手続きが必要です
その手続きに約2年を要します、その手続きを免れる為に分割して農地を購入しようとしています

言わば脱法行為で時間の短縮を図ろうとしています

「半田市長が定めた規則を、半田市長が破る」

これが榎原純夫市長の半田市政の現実です



農地転用の手続き

農地を転用する場合、愛知県知事の許可を必要とします
市街化区域の中に目的に見合う所有地がある場合、

そちらを優先していかなければなりません

例えば赤レンガ広場ならその用途に叶う市所有地です
知事は無条件で許可をするでしょうか

これらの手続きがスムーズに行われる完全な保証はありません
まだまだ費用と時間が必要になりますね

そして無事に手続きが終わったとしても、

地下には危険な活断層が横たわっています

今年3月20日、半田病院と常滑市民病院の経営統合に関する市民説明会で、渡邊半田病院副院长は「運動公園東側農地には活断層が存在するが、現在の建築技術であれば支障なしと考える」と発言
この非常識な発言は何を根拠にしているのでしょうか、市長に言わされているのでしょうか



榎原純夫市長の公約破りを取り繕うための 半田病院と常滑市民病院との経営統合はしません

市立半田病院の民営化はしません

病院職員の能力を最大限活用し市民の命を守ります

榎原純夫市長の公約違反を取り繕う病院建設地の選定が迷走した事により、
病院職員の皆さんは誇りを持って働く状態ではなくなっています
半田病院の皆さんの一人一人が使命感を持って職責を果たしていくべき
半田病院は素晴らしい病院になると思います、今からチャレンジです
これが、病院の最高経営責任者である市長にとって一番大切な仕事です

「子育て支援日本一の街、半田」

多くのご家庭のポストに私の会報誌をお届けして思う事、
実に多くの空家が存在します。これは街が衰退している証です
この人口減少による街の衰退を防ぎ、街を活性化するためには若い世代が半田を選び長く住んで頂く事が大切です
その為には子育てしやすい街づくりを進めなければなりません
その為の第一歩として、小中学校の給食費の無償化を実現します
その予算額、小中学生徒併せて約9500人分、約4億8000万円
市予算で市民一人当たり年間約4000円の将来への投資となります
更に様々な子育て支援策を充実し、賑わいの街づくりを実現します



小中学校の給食費の無償化を実現

児童・生徒の通学かばんを軽くするため、愛知県犬山市教育委員会は、全小中学校に「教科書、副教材、ノートなどを原則として学校保管とする」との通達を6月に出した。これを受けて各学校は、趣旨を子どもたちに伝えるとともに、対策の前後にランドセルやかばんの重さを調査した。
その結果、中学生は1人平均2.4キログラム軽くなった。文部科学省は9月、都道府県などに対し、児童・生徒が持ち運ぶ教科書などの重量に配慮するよう事務連絡を出したが、犬山市の通達や対策はこれに先駆けての実施。(公明党HP「児童・生徒のカバンが軽くなった」より引用)
半田市でもこの取り組みを至急実現しなければなりませんね

榎原純夫市政の継承か、刷新か、 あなたが決める日、それが6月6日です

山本ひろのぶプロフィール

S 24 半田市に生まれる
S 47 愛知学院大学商学部を卒業
建設業に就職
S 59 山本博信建築事務所及び
行政書士事務所を開設現在に至る
H 7 半田市議会議員初当選
5期20年努める
保有資格 行政書士 一級建築士 防災士
一級土木施工管理技士 他
趣味 レク・インディアカ (ニュースポーツ)
篆書 篆刻 10円玉磨き
鉄道(旧国鉄JRの全線乗車)
新幹線新青森-新函館北斗間を
乗車すると全線の完全乗車の
目標を達成します



山本ひろのぶは

どこの政党にも、属していません
どこの利権業者とも、無関係です
どこの既得権業者とも、無関係です
言わば完全無所属です
シガラミのない市政を実践します



よろしく
お願い致します
半田市のために
全力を尽くします

<https://yamamoto-handa.jp>
山本ひろのぶ公式HP

市民が決める、輝く半田の未来！

新しい市立半田病院は赤レンガ広場に建設します

- 一分一秒の命に係わる時間の無駄遣いを無くします
- 利便性が高く、常日頃でも、間近に迫る大災害でも、市民の命を守ります

半田市の全ての政策を、福祉の観点から総点検・再構築する

- 市民が幸せに暮らせるよう、一人一人に寄り添う市役所を実現するため、市の施策のすべてを福祉の観点から見直し、福祉政策の体系を再構築します

土曜・日曜・祝日の午前中に市民課を開庁します

- 出生や結婚などの申請手続きや住民票などの証明書の取得をスムーズにします
- 市民生活にお休みはありません、役所のルールではなく市民本位の運営にします

図書館・博物館・南吉記念館等の開館日を増やします

- 休館日を減らし、開館・閉館時間を見直し、サービスの向上と施設の有効活用を計ります。観光資源としての役割も担います

コミュニティバスの運行を一年間無償とする実証実験

- 良い結果が出なければオンデマンド方式で検討する
- 交通弱者と言われる市民の生活の利便性確保

発達障がい児の支援を充実する

- 今や10人に1人と言われる、発達障がいを持った児童の支援を充実し二次障害を防ぎつつ児童の健全な育成を実現します



高齢者の「生きがい」を高める方策を検討する

- 人生100年時代と言われる今、高齢者が生きがいを持って有意義な人生を送れるよう、社会での活躍の場づくりを進めます

主要道路での踏切遮断時間を短縮し、交通のスムーズ化

- 信号の改良や列車運行方式などを鉄道会社と協議し実現を目指します

大災害に備える安全に暮らせる街づくりの推進

- 家具の固定・感震ブレーカーの設置（特に高齢独居家庭）
- 防災資格者の活躍の場の推進・電柱の転倒防止（避難路の確保）



半田市の観光施策の充実

- 半田市の観光資源の発掘と再認識を進め、商工会議所と協議し、賑わいの街づくりの充実をはかります

半田市に発展をもたらす港湾政策の推進

もっともっと輝く半田市にするために、あなたのお話を聞かせて下さい

きずな

輝く半田市の未来を創る あなたの話を聞かせて下さい



山本ひろのぶ公式HP

発行 第1号 令和3年3月 討議資料

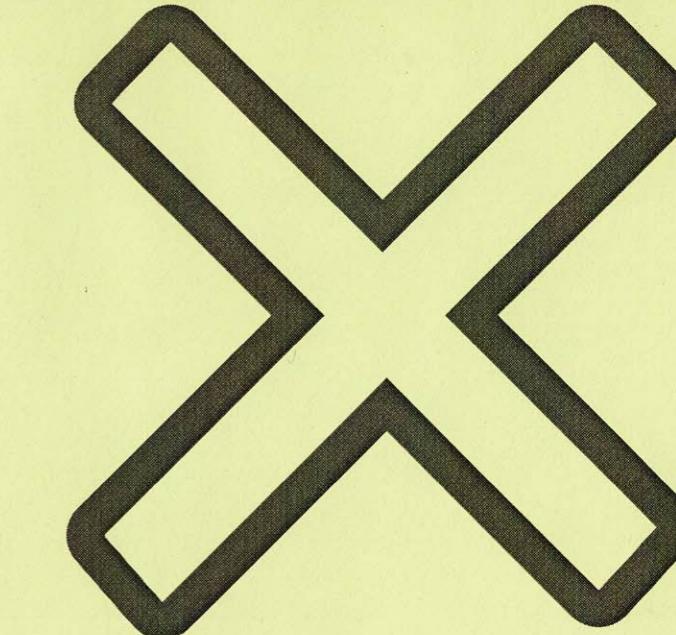
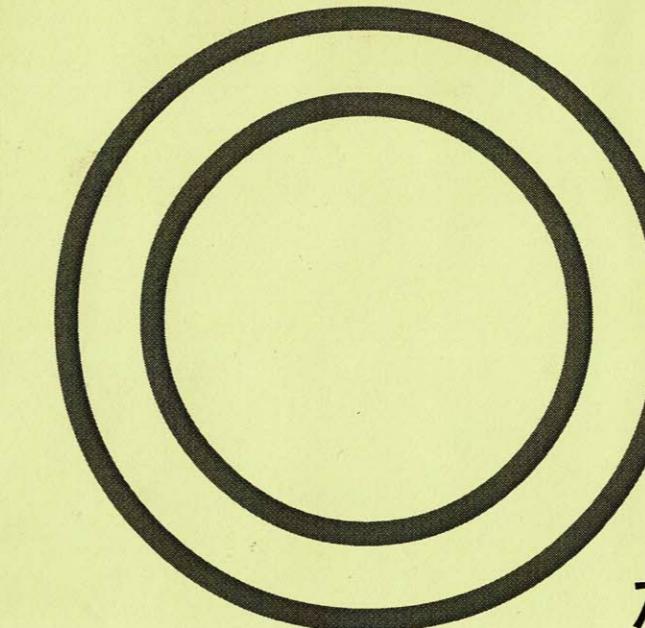
輝く半田 未来の会

半田市新栄町37番3

tel 0569-22-3398 fax 0569-22-3399

e-mail yamamoto-hironobu@qc.commufa.jp

市民が決める、半田の未来



か

か

榎原純夫市長は新病院の建設地を、迷走の末に公約違反となる運動公園東の農地にすると言う。半田市のリーダーに手を挙げた方はこれを可とし、市民の審判も受けずにこれを進めようとしています。今こそ、この重要政策に市民が直接判定すべき時が来ました

**決めるのはあなたです！
半田市に民主主義を取り戻そう！**

<https://yamamoto-handa.jp>
山本ひろのぶ公式HP



山本ひろのぶは

早期着工可、土地代いらず

**新病院の建設地は赤レンガ広場へ
税金の無駄遣いをストップし、
信義を守る市政に転換します。**

新病院を運動公園東にすると「無駄遣い」が止まらない



この中日新聞記事では

半田市は「建設費用を抑制」と胸を張るが
これは、運動公園に建設する時と比較した金額であり、
市街地にある市所有地の
例えば、赤レンガ広場などと比べ、抑制出来る金額は提示されていない

公約違反を棚に上げて
市民に正確な情報を提供せず
誤解を与える説明ですね

市民からの市役所への
信頼を裏切っていませんか

「農地をもらってくれる人があればタダで、もらってほしい」「農地を売ろうと思っても、買ってくれる人が見つからない」などと言われている今の時代です。

農地3万9000m²（1万1800坪）を3億3千万円で買取予定

買取単価は約8500円/m²、約2万8000円/坪となります

世間相場の約3倍から7倍の価格で買う予定とか

これこそ「税金の無駄遣い」

おまけに、土地売却益に対する税金約5000万円を

支払い免除とする特典も半田市は与えます



阿久比町の河和線をくぐる工事に約2億8500万円を半田市が負担する
冠水したら通れない。環状線が完成したら不要となる

これこそ「税金の無駄遣い」

将来東側の農地をさらに買収予定、同じ条件なら約1億7000万円必要

世間相場と大きくかけ離れた買取価格。これこそ「税金の無駄遣い」

そして、またもや土地売却益に対する税金約2500万円を

支払い免除とする特典を半田市は与えるのでしょうか

まだまだ周辺整備のために更なる税金投入が必要になる

これらにいったい何億円を費やすのでしょうか

これこそ「税金の無駄遣い」



一番の無駄遣いは市民の大切な時間

運動公園東に病院が出来たなら、これから約50年の長い期間、

通院する市民の時間の無駄遣いが止まりません。

特に1分1秒を争う救急患者さんにとって命を失う時間の無駄遣いとなります。

榎原純夫市長の公約破りにより、市民に大きな不信の嵐が渦巻いています。
このまま、運動公園東側農地に新病院建設を進めて行けば市民の心は二分されます

「私は刈谷（刈谷豊田総合病院）に行く、新病院には行かん」と利便性の悪さを理由に、このようにハッキリと言う人も多くいます。この方たちの納めた税金も使って、新病院は建設されるのです。前回の榎原純夫市長の「新病院は市職員駐車場に建設する」との公約を信頼し、貴重な一票を投じた市民も多くおられるでしょう。



公約違反をごまかし、税金の無駄遣いし、市民の貴重な時間を無駄遣いさせようとしていますNOと言える機会をつくるべき、民主主義による半田市政であれば市民の判断を仰ぐべきです

半田市の政治を根本的に変えるには信義を守る政治が必要です
今こそ、市民一丸となって安全で利便性の高い
赤レンガ広場に、新病院を建設すべきだと思います
今なら間に合う、最後のチャンスです

市役所が変われば、半田市が変わる！

榎原純夫市長の公約違反の病院建設地の選定が迷走したことにより、市職員の皆さんは誇りを持って働く状態ではなくなっています。市職員一人一人が誇りと使命感を持って職責を果たして行けば、半田市は素晴らしい街になると思います。そういう市役所にする事が市長にとって一番大切な仕事です

市役所の働き方改革

- ・市長派・反市長派に市民を色分けする事を禁止し、公平公正な対応をします
- ・職務の研鑽を深め、確実な説明責任とスムーズな市民サービスを実現します
- ・市職員一人一人の意識改革を進め、誇りと使命感を持った働き方を進めます

山本ひろのぶプロフィール

S 24 半田市に生まれる
S 47 愛知学院大学商学部を卒業
建設業に就職
S 59 山本博信建築事務所及び
行政書士事務所を開設現在に至る
H 7 半田市議会議員初当選
5期20年努める
保有資格 行政書士 一級建築士 防災士
一級土木施工管理技士 他
趣味 レク・インディアカ (ニュースポーツ)
篆書 篆刻 10円玉磨き
鉄道 (旧国鉄JRの全線乗車)
新幹線新青森-新函館北斗間を
乗車すると全線の完全乗車の
目標を達成します



山本ひろのぶは

どこの政党にも、属していません
どこの利権業者とも、無関係です
どこの既得権業者とも、無関係です
言わば完全無所属です
シガラミのない市政を実践します



よろしく
お願い致します
半田市のために
全力を尽くします

<https://yamamoto-handa.jp>
山本ひろのぶ公式HP